

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

エンジンオイルの補給	11- 2
ウォッシャー液の点検・補給	11- 3
タイヤメンテナンス	11- 3
クリーンエアフィルターの交換のしかた	11- 5

車のお手入れ

内装品のお手入れ	11- 6
外装品のお手入れ	11- 7

エンジンオイルの補給

J01200100572

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命、始動性に大きく影響しますので、必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。

エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は、日産純正エンジンオイルまたはオイル缶に ILSAC 認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。

→ 「エンジンオイル注入キャップ、エンジンオイルレベルゲージ」 P. 1-6
→ 「オイル類の量と種類」 P. 14-3

ILSAC 認証マーク



AAA005581

アドバイス

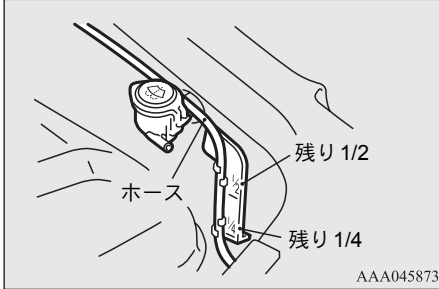
- エンジンオイルは通常走行でも、走行状況に応じて消耗します。
オイル量を点検しオイルが不足している場合は、補給してください。
- エンジンオイルの点検、補給方法、交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- 外気温が低いときに、エンジンオイル注入キャップおよび注入口の内側にエンジンオイルが白いクリーム状になって付着することがあります。
これは、エンジン内部の水蒸気が冷やされて水滴となり、エンジンオイルと混ざることにより発生するもので、外気温の上昇、エンジンの暖機が進むことにより水分は蒸発し解消します。
この現象によるエンジンオイルの変質はなく、そのまま使用しても問題はありません。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200200498

フロント・リヤ共用

ホース内の液面の位置で液量を点検します。



ウォッシャー液が不足している場合は、日産純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

<希釈割合の目安>

凍結温度	希釈割合
-7℃程度	原液1に水2
-13℃程度	原液1に水1
-38℃程度	原液のまま

⚠ 注意

- 冬期は、ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

📖 アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると、ノズルのつまり、塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

タイヤメンテナンス

J01202100143

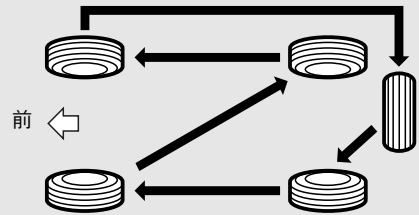
タイヤローテーション

J01202400162

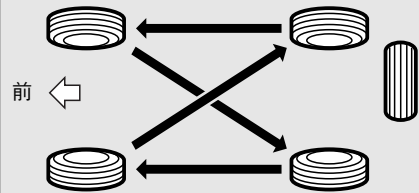
タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため、タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

回転方向を示す矢印が付いていない場合

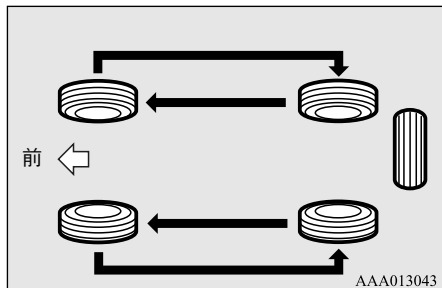
スペアタイヤを使用する場合



スペアタイヤを使用しない場合

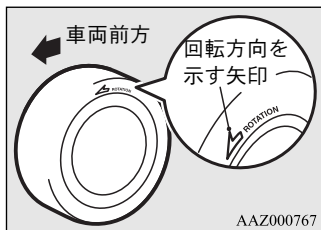


回転方向を示す矢印が付いている場合



⚠ 注意

- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは、4輪で前後ローテーションを行ってください。タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かせません。

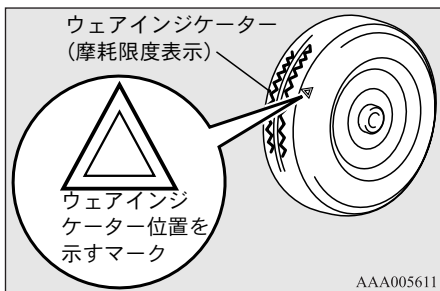


- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは、安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

JO1202500017

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら、スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。



📖 アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は、タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

JO1202600018

タイヤの空気圧は定期的に点検し、必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9

⚠ 警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、タイヤが偏摩耗したり、車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また、バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。

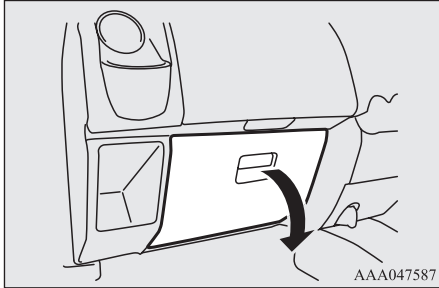
📖 アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたポデー側のラベルにも表示しています。

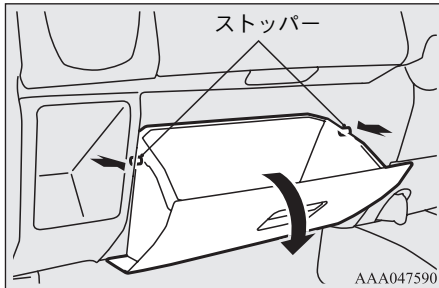
クリーンエアフィルターの交換のしかた

J0120200272

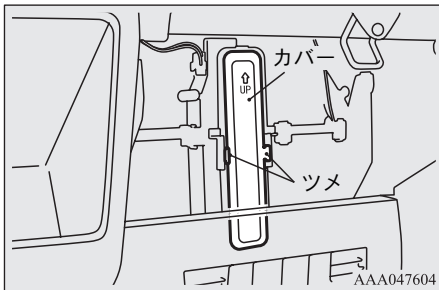
1. エンジンスイッチを LOCK にし、グローブボックスを開けます。



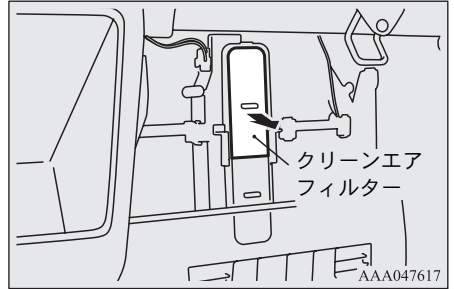
2. 左右にあるストッパーを内側に押し込みながらグローブボックスを手前に引いて取り外します。



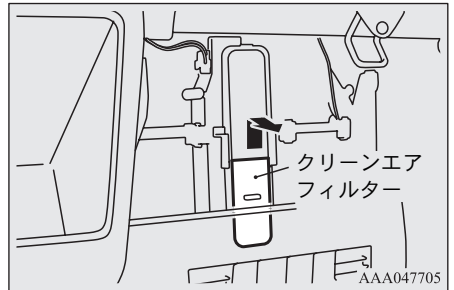
3. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。カバー左右にあるツメを外し、手前に引いて外します。



4. 上側のクリーンエアフィルターを取り出します。



5. 下側のクリーンエアフィルターを上側にスライドさせて取り出し、新品と交換します。



6. 元に戻すときは、取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200600782

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に、中性洗剤の3%水溶液を含ませて、軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠ 注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み、視界の妨げになるおそれがあります。
- シートの下など、見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは、手袋などを使用して、手にけがをしないよう注意してください。

📖 アドバイス

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ、割れの原因になります。また、各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は、こぼれないよう容器を確実に固定してください。また、インストルメントパネルの上やランプ類、メーターの近くには置かないでください。含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色、ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

J01202700136

1. ガーゼなどの柔らかい布に、ウール用中性洗剤の5%水溶液を含ませて、汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

📖 アドバイス

- 水をこぼしたり、雨などでぬれたときは、乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ、合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油污れなどは、早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり、硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200701142

お車を美しく保つために、走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。

つぎのような汚れは、そのままにしておきますと、腐食、変色、しみになるおそれがありますので、できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙、油煙、粉じん、鉄粉、化学物質（酸、アルカリ、コールタールなど）など
- 鳥のふん、虫の死がい、樹液、花粉など

⚠ 注意

- 下まわりやホイールを洗うときは、厚手のゴム手袋などを使用して、手にけがをしないよう注意してください。
- 外装のお手入れをするときは、エンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

J01202800339

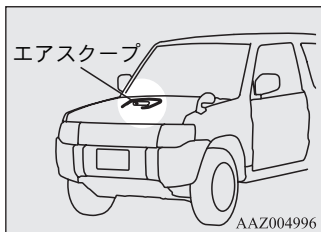
1. 水をかけながら、車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら、スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには、中性洗剤を使用してください。
洗車後は、中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは、水で洗い落とし、必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. 柔らかい布またはセーム皮で、塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠ 注意

- 洗車後は、低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。
ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり、凍結やさびによってブレーキが固着し、走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 日産純正ワックスの使用をおすすめします。
- エンジンルーム内やエアスクープ内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときもエンジンルーム内に水が入らないようにしてください。故意に水をかけるとエンジンの始動不良や電気部品の故障などの原因となります。



- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり、劣化を早めるおそれがありますので、使用はできるだけひかえてください。特に濃彩色車やメタリック車は擦り傷がめだちやすくなります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温、高圧のものがあります。車体樹脂部品の熱変形、破損、接着式マーク類のはがれ、室内への水侵入などのおそれがありますので、つぎのことをお守りください。
 - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約40cm以上）
 - ドアガラスまわりを洗うときは、洗車ノズルをガラス面に垂直に向け、洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約60cm以上）
- 自動洗車機を使用するときは、部品が破損したり、車両を傷つけるおそれがありますので、アンテナ、ドアミラーおよびサイドアンダーミラーを格納してください。ルーフレール付き車は、使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは、操作要領に従って洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900284

月に1~2回または、水をはじかなくなったときかけます。

ワックスかけは、洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。

塗装面が熱いときにワックスをかけると、しみの原因になります。

アドバイス

- 日産純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。コンパウンド入りのワックスを使用すると、汚れ落ちはよくなりますが、塗装面やメッキ面を削り取るため光沢が失われる原因になります。また、使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると、色むらなどが起こるおそれがありますので、ワックスをかけないでください。ワックスが付着したときは、温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 洗車やワックスかけを行うときは、車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。力のかけ具合や場所によっては、万一の場合、車体がへこむおそれがあります。



ウインドウガラスのお手入れ

J01203000048

ワイパーのふきが悪くなったときは、ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 日産純正ウインドウガラスクリーナーの使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100016

ワイパーゴムに異物が付着していたり、摩耗しているとふきが悪くなりますので、つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは、水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは、早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

樹脂部品のお手入れ

J01201500140

スポンジまたはセーム皮で清掃します。黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。ワックスが付着したときは、温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは、表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは、樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン、軽油、ブレーキ液、エンジンオイル、グリース、塗装用シンナー、硫酸（バッテリー液）を付着させると、変色、しみ、ひび割れの原因になりますので、絶対に避けてください。万一、付着したときは、すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと、多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

タイプ別装備

J01201600167

1. 水をかけながら、スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには、中性洗剤を使用してください。洗車後は、中性洗剤を水で洗い落とします。
3. 柔らかい布またはセーム皮で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは、ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのクリーナーや、酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。ホイール塗装表面のはがれ、変色、しみの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは、腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

塗装の補修

J01201700025

飛び石や引っかき傷などは、腐食の原因になります。見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 日産純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。